第２次新城市森づくり基本計画（案）パブリックコメント実施結果

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 提出された意見 | 意見に対する市の考え方 |
| １－１ | 山林が手入れされないため、大雨などの時に土砂災害が起こりやすくなったり、生きものの食料不足が起きており畑が荒らされている等、色々な問題が起きている。 | 第２次新城市森づくり基本計画（案）（以下、「計画（案）」）では、公益的機能を発揮するため適切な林齢での間伐を推進します。基本目標１の施策方針（１）「計画的・戦略的な人工林の健全化の推進」の施策のひとつとして、計画（案）の中に反映しています。  また、森林内で多様な動植物が生育できるように生きものの生息に配慮した森林づくりを実践します。基本目標１の施策方針（２）「多様で健全な森林の形成」の施策のひとつとして、計画（案）の中に反映しています。 |
| １－２ | 自分が利用する道路も早く伐採してほしい。雪が降った後など、日陰なのでいつまでも凍結しており怖い思いをしている。 | 計画（案）の作成にあたって、森林所有者や市民のアンケート調査を実施しており、今回の意見と類似した回答を複数いただいております。  住民の生活に支障をきたさないよう公道沿いの間伐を推進します。基本目標１の施策方針（３）「暮らしを守る森づくり」の施策のひとつとして、計画（案）の中に反映しています。 |
| １－３ | 山を管理しない所有者は自治体に所有権を移すなど、時代に合った所有制度に変更していく必要があると思う。 | 計画（案）では、手入れのされていない森林を減らすため、森林所有者の意向を調査し、市が森林所有者から経営管理の委託を受けることになった森林については、林業経営者に再委託または、市が自ら管理を行うこととしています。重点プロジェクト１「森林経営管理制度に基づくり市主体の間伐推進プロジェクト」として、計画（案）の中に反映しています。 |